

2.5 底質

2.5.2 有明海・八代海の底質分布と経年変化

底質調査は、付図 2.5.2-1 に示すスミスマッキンタイヤ型採泥器(採泥面積 0.05m²)を用いて 3 回採取し、混合試料を分析した。調査項目及び分析方法は付表 2.5.2-1 に示すとおりである。

有明海・八代海における底質調査の実施状況は付表 2.5.2-2 に示すとおりである。



付図 2.5.2-1 底質採取状況等

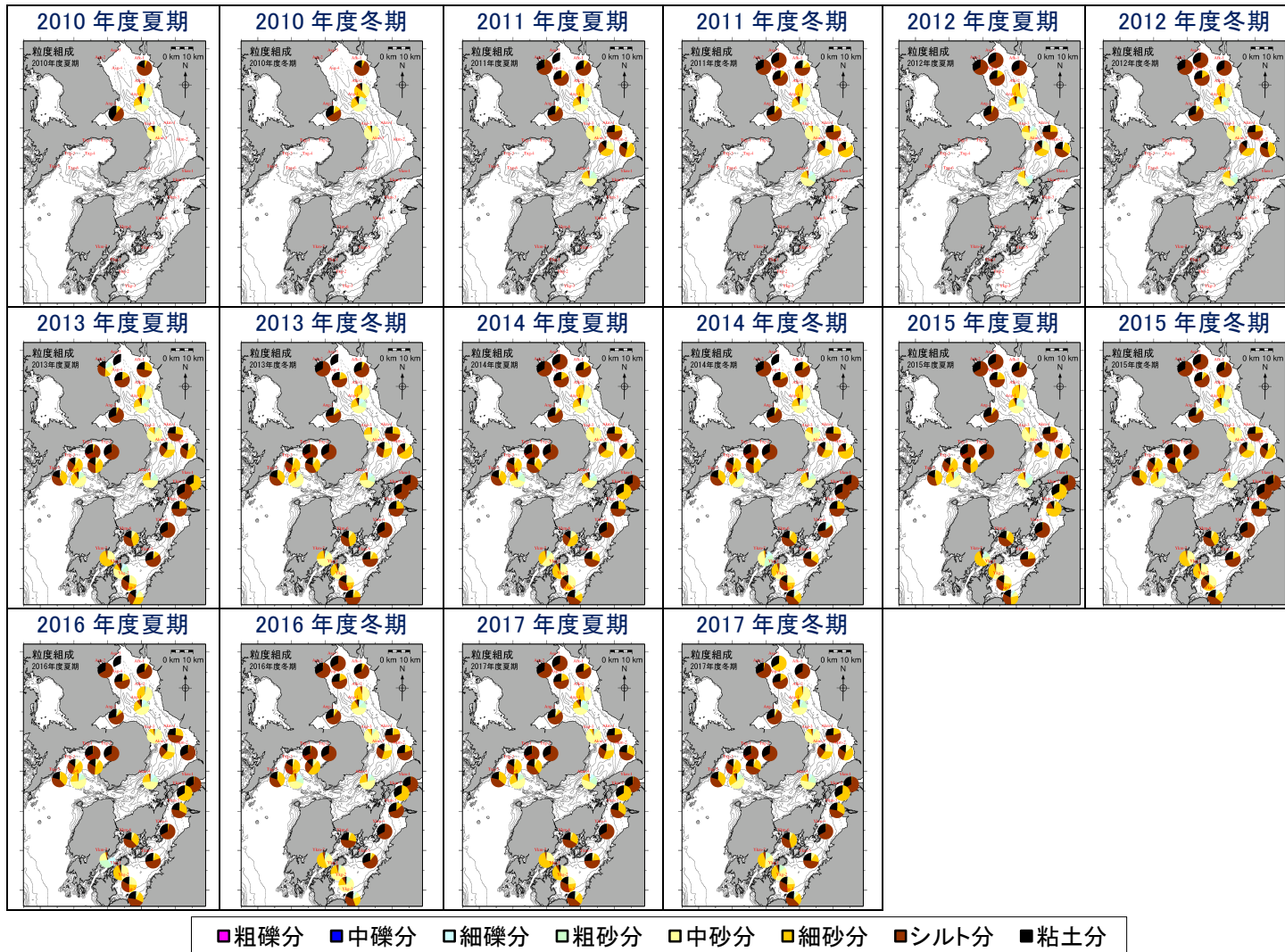
出典:環境省「有明海・八代海等再生対策検討作業支援業務」

付表 2.5.2-1 底質の調査項目及び分析方法

調査項目	調査・分析方法
泥色	標準土色帳による目視観察
性状	現場における目視観察
泥温	棒状温度計又は電気温度計
粒度組成	JIS A 1204 (2009)
含水率	「底質調査方法」(平成 24 年 8 月 環境省) II. 3
pH	「底質調査方法」(平成 24 年 8 月 環境省) II. 4. 4
酸化還元電位	「底質調査方法」(平成 24 年 8 月 環境省) II. 4. 5
強熱減量	「底質調査方法」(平成 24 年 8 月 環境省) II. 4. 2
化学的酸素要求量 (COD)	「底質調査方法」(平成 24 年 8 月 環境省) II. 4. 7
全窒素 (T-N)	「底質調査方法」(平成 24 年 8 月 環境省) II. 4. 8. 1
全りん (T-P)	「底質調査方法」(平成 24 年 8 月 環境省) II. 4. 9. 1
硫化物 (T-S)	「底質調査方法」(平成 24 年 8 月 環境省) II. 4. 6
全有機炭素 (TOC)	「底質調査方法」(平成 24 年 8 月 環境省) II. 4. 10

出典:環境省「有明海・八代海等再生対策検討作業支援業務」

有明海・八代海等における底質の粒度組成、COD、T-N、T-P の 2017(平成 29)年度以前の調査結果は付図 2.5.2-2～付図 2.5.2-5 に示すとおりである。



注) 粒度組成は 2010(平成 22)年度以降からの調査結果を表示。

付図 2.5.2-2 底質の粒度組成の水平分布(2010(平成 22)年度~2017(平成 29)年度)

出典: 環境省「有明海・八代海等再生対策検討作業支援業務」